

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																																			
沖縄ビューティーアート専門学校		令和2年3月23日		萩原 知子		〒 900-0011 (住所) 沖縄県那覇市上之屋1-3-13 (電話) 098-851-3166																																			
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																																			
学校法人三幸学園		昭和60年3月8日		屋間 一彦		〒 113-0033 (住所) 東京都文京区本郷三丁目23番16号 (電話) 03-3814-9641																																			
分野	認定課程名	認定学科名				専門士	高度専門士																																		
衛生	衛生専門課程	ヘアメイク科				令和3年度	—																																		
学科の目的	「世の中の困難を希望に変える」をミッションとし、学校教育法に基づき、美容業界に従事しようとする者に必要な実践的かつ専門的な知識、技能を教授することによって、明日の美容業界を担う人材を養成することを目的とする。																																								
認定年月日	令和2年3月23日																																								
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																																		
2年	昼間	67	17	18	3	0	29																																		
生徒総定員		生徒実員	留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数																																			
80人		66人	0人	12人	22人	34人																																			
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 評価の基準:シラバスに定められた基準に基づき、100点法で素点を出し、それを20で割り四捨五入した5点法に換算する。 評価の方法:試験、レポート、履修状況等を総合的に勘案して行う。																																				
長期休み	■学年始:4月1日～4月11日 ■夏季:7月16日～8月28日 ■冬季:12月21日～1月11日 ■学年末:3月1日～3月31日			卒業・進級条件	本校に修業年限以上在学し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に、卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示すとおりとする。																																				
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 担任制を取り、心身の健康問題、学校生活上の諸問題について早期発見・対応できるよう、個人面談等を実施している。また出席の状況等について、必要に応じて適宜保護者とも共有を図り、連携体制を整えている。			課外活動	■課外活動の種類 (例)学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 ボランティア活動、各学校行事実行委員 ■サークル活動: 無																																				
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(令和3年度卒業生) 美容室、ブライダル関連施設・企業、フォトスタジオなどの美容・ブライダル業界 ■就職指導内容 身だしなみ指導・履歴書添削・面接指導・ビジネス文書 ■卒業生数 5 人 ■就職希望者数 5 人 ■就職者数 5 人 ■就職率 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 100 % ■その他 0 (令和 3 年度卒業生に関する令和4年5月1日時点の情報)			主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和3年度卒業生に関する令和4年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>美容師国家試験</td> <td>②</td> <td>5人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>実務技能検定協会サービス接遇検定 3級</td> <td>③</td> <td>5人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>パーソナルカラーコーディネーター検定</td> <td>③</td> <td>5人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>ABEまつ毛エクステンション技能検定</td> <td>③</td> <td>5人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>京都きもの伝承文化協会きもの着付け 3級</td> <td>③</td> <td>5人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>京都きもの伝承文化協会きもの着付け 2級</td> <td>③</td> <td>5人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>トータルメイクアップ検定ベーシック</td> <td>③</td> <td>5人</td> <td>5人</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等					資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	美容師国家試験	②	5人	5人	実務技能検定協会サービス接遇検定 3級	③	5人	5人	パーソナルカラーコーディネーター検定	③	5人	5人	ABEまつ毛エクステンション技能検定	③	5人	5人	京都きもの伝承文化協会きもの着付け 3級	③	5人	5人	京都きもの伝承文化協会きもの着付け 2級	③	5人	5人	トータルメイクアップ検定ベーシック	③	5人	5人
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																																						
美容師国家試験	②	5人	5人																																						
実務技能検定協会サービス接遇検定 3級	③	5人	5人																																						
パーソナルカラーコーディネーター検定	③	5人	5人																																						
ABEまつ毛エクステンション技能検定	③	5人	5人																																						
京都きもの伝承文化協会きもの着付け 3級	③	5人	5人																																						
京都きもの伝承文化協会きもの着付け 2級	③	5人	5人																																						
トータルメイクアップ検定ベーシック	③	5人	5人																																						
中途退学の現状	■中途退学者 4 名 令和3年4月1日時点において、在学者37名(令和3年4月1日入学者を含む) 令和4年3月31日時点において、在学者33名(令和4年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更・経済的問題・心身的問題 ■中退防止・中退者支援のための取組 ・入学前に新入生、保護者に対して、学校生活や授業就職についての説明会を実施。 ・出席状況や生徒状況に応じて、保護者連絡を行ない家庭と学校の連携を深めている。		■中退率 11 %																																						

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

企業等との連携を通じて必要な情報の把握・分析を行い、実践的かつ専門的な職業教育を実施することを目的として、教育課程編成委員会を設置する。委員会は次の各号に掲げる事項を審議し、授業科目の開設や授業方法の改善・工夫に生かす。

- (1)カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項
- (2)各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項
- (3)教科書・教材の選定に関する事項
- (4)その他、教員としての資質・能力の育成に必要な研修に関する事項等

またより正確に業界における動向や求められる人材要件を把握するため、就職・実習先企業や業界団体、資格・検定団体等と関係性を深め、幅広く連携を図ることで、業界の求めるニーズを確実に捉え、本校のカリキュラムや授業内容に反映する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会での審議を通じて示された企業等の要請その他の情報・意思を十分に生かし、実践的かつ専門的な職業教育を実施するに相応しい教育課程の編成を協力して行うものとして位置づけ、学校長の下に置くこととする。

具体的には、審議を通じて示された教育課程編成に係る意見を基に、副校長および各校教務チームによって教育課程およびシラバスの改善素案が作成され、美容分野専門委員会(別紙組織図:各専門委員会)にて提案される。

提案に基づき、美容分野専門委員会にて審議の上、次年度の教育課程およびシラバスに改善内容が反映される。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和4年9月30日現在

名前	所属	任期	種別
村橋 哲矢	東京都美容生活衛生同業組合 専務理事	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	①
上村 幸一	atelier [es] HAIRDESIGN 代表	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	③
小川 大輔	沖縄ビューティーアート専門学校 副校長	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	—
吉沢 美香	沖縄ビューティーアート専門学校 教務課長	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	—
笠原 美紀	沖縄ビューティーアート専門学校 教務主任	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	—
上床 梨絵	沖縄ビューティーアート専門学校 ヘアメイク科チーフ	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(12月、8月)

(開催日時(実績))

令和3年12月21日 18:30～19:30

令和4年8月22日 15:00～17:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

現在の美容業界では、接客だけでなく、その前にいかに集客するかが大切になってきているが、集客スキルを学ぶ場が現状の専門学校では少ない、もしくはほぼないとご意見頂いたことを踏まえて、令和4年度よりスチール撮影演習Ⅰの授業の中で「SNS・WEB・フオトスキル」を学ぶシラバスに改定。これにより在学中に集客スキルも学ぶことができるようになった。また教科書に動画などが埋め込まれていた方がよりわかりやすいのではないかというご意見から、令和4年度より先行してメイク系の授業にてデジタル教科書を作成し、動画も埋め込んでいる。今後他の授業にもデジタル化を有効に反映できないかを検討していく。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針
 実践的な指導を施すにあたり、美容業界における実践的かつ専門的な知識・技術およびその指導力が得られる企業等を選定し、実践計画の作成から連携を図る。美容業界の求める人材要件に沿った計画、および評価基準・方法を設定し、企業等からのフィードバックに基づいた成績評価を行うことを基本方針とする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容
 ※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記
 ■授業内容について:連携企業の職員の方に本校の実習室などを利用して現場を想定した実践形式で授業を実施頂き、美容室として現場で必要とされる資質や運営方法具体的に学ぶ。
 ■評価について:連携企業による項目別の評価をもとに成績付けを行い、成績認定を行うものとする。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
美容実習 I -F	美容室として現場で求められる資質や運営方法を具体的に理解する。	株式会社ケンジ

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針
 ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記
 実践的かつ専門的な職業教育を実施し、明日の美容業界を担う人材を養成するためには、教員一人ひとりが常に業界ならびに実務に関する最新の知識を持ち、指導スキルを身につけようという向上心がなければならない。そのために、「研修等に係る諸規程」に基づき、毎年計画的に以下の研修を実施し、教員に研修を受けさせることを基本方針とする。
 ・企業等から講師を招いた実践的かつ専門的な知識・技術・技能を修得するための研修
 ・企業等から講師を招いた指導力の修得・向上のための研修

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 美容業界の現状と、今後の展望について	連携企業等: 株式会社リクルート
期間: 令和2年8月20日(金)	対象: 担任、教科教員6名
内容: 現在、将来の美容業界の流行りや動向、それを踏まえての学生に対しての対応の仕方を学ぶ。	
研修名: 生徒の心に火をつける技術・知識・言葉	連携企業等: 株式会社GOALDJAPAN
期間: 令和3年3月23日(水)	対象: 担任教員6名
内容: 美容に関する最先端の技術・知識、また生徒のモチベーションのあげ方を学ぶ。	

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: マネージメントの原理、原則、ケースワーク研修	連携企業等: 株式会社リクルートマネジメントソリューションズ
期間: 令和3年7月5日(月)～7月6日(火)	対象: 担任教員1名
内容: WEB学習と集合型研修を組み合わせ、マネージメントの原理原則を学ぶとともに、職場実践による経験学習を通じてマネージメントを学ぶ。	
研修名: モチベーション・マネジメント研修	連携企業等: 一般社団法人モチベーション・マネジメント協会
期間: 2021年10月3日(月)	対象: 担任教員1名
内容: 他者に対するモチベーション・マネジメントを中心に、主に実践スキルを身につける。	
研修名: キャリアデザインセミナー	連携企業等: 株式会社ウィルシード
期間: 2021年10月27日(水)～10月28日(木)	対象: 担任教員1名
内容: 今後の自分と社会の可能性を想像し教員という仕事や学校に対するエンゲージメントを高める。自己の視野を拡大する。	

(3) 研修等の計画	
① 専攻分野における実務に関する研修等	
研修名: 美容業界の動向と、専門学校教育について	連携企業等: 株式会社 i i i (スリー)
期間: 令和4年8月19日(金)	対象: 担任教員11名
内容: 今後の美容業界の動向と、それを踏まえて教員が意識、対応すべきことを学ぶ。	
研修名: 教員向けワインディングセミナー	連携企業等: 株式会社ケンジ
期間: 令和4年1月24日(火)	対象: 担任教員6名
内容: ワインディングを中心とした、美容に関する知識・技術の生徒への伝え方、教え方を学ぶ。	
② 指導力の修得・向上のための研修等	
研修名: 問題解決力向上研修	連携企業等: 株式会社ウィルシード
期間: 令和4年9月7日(水)～9月8日(木)	対象: 担任教員1名
内容: 組織視点を持ち、解決すべき問題を考える。自分の成果だけでなく、組織の成果を出す視点を学ぶ。	
研修名: マネージメントの原理、原則、ケースワーク研修	連携企業等: 株式会社リクルートマネジメントソリューションズ
期間: 令和3年10月12日(水)～10月14日(金)	対象: 担任教員1名
内容: マネジメントの原理原則の体系的に習得し、職場でのマネジメントレベルを向上させる。	
研修名: 巻き込み力向上研修	連携企業等: 株式会社ウィルシード
期間: 令和4年年10月11日(火)～10月12日(水)	対象: 担任教員2名
内容: 複数の生徒、関係者と学校創りや、仕事を進めていくために必要な考え方と手法を学ぶ。	
4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係	
(1) 学校関係者評価の基本方針	
学校関係者として、業界の企業様や卒業生・地域団体住民・高校関係者等と共に、学校関係者評価委員会を設置し、当該専門分野における実務に関する知見を活かして、教育目標や教育環境等について評価し、その結果を次年度の教育活動及び学校運営の改善の参考とする。学校関係者評価は、「私立専門学校等評価研究機構 専門学校等評価基準」の評価項目を使用して実施した自己点検・自己評価の結果を基に「専修学校における学校評価ガイドライン」に則って実施することを基本方針とする。また、評価結果は学校のホームページで公表する。	
(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応	
ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	(1) 教育理念・目標
(2) 学校運営	(2) 学校運営
(3) 教育活動	(3) 教育活動
(4) 学修成果	(4) 学修成果
(5) 学生支援	(5) 学生支援
(6) 教育環境	(6) 教育環境
(7) 学生の受入れ募集	(7) 学生の受入れ募集
(8) 財務	(8) 財務
(9) 法令等の遵守	(9) 法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	(10) 社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	-
※(10)及び(11)については任意記載。	
(3) 学校関係者評価結果の活用状況	
就職率・進路決定率においては良い結果を残すことができているが、関係者より業界の現状や今後の展望を踏まえ、デジタル化含めより良い教育環境を整えていくこと、それに適応できる教員の対応力向上などの改善点があるとのこと意見をいただいた。姉妹校と協力しVRを活用した教材開発を行っており、学内でもその利用方法を検討することとし、また令和4年度からデジタル教材を利用した授業を展開できるようカリキュラム変更を行う予定である。	

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和4年9月30日現在

名前	所属	任期	種別
真下 雄貴	株式会社ビルネット 営業本部	令和4年4月1日～令和5年3月31日	その他校長が必要と認める者
村橋 哲矢	東京都美容生活衛生同業組合 専務理事	令和4年4月1日～令和5年3月31日	企業等委員
岡田 真希	飛鳥未来さずな高等学校 沖縄キャンパス主幹教諭	令和4年4月1日～令和5年3月31日	教育に関し知見を有する者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)

URL: <https://www.sanko.ac.jp/okinawa-beauty/disclosure/kankeisya.pdf>
公表時期: 令和4年7月26日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

「専門学校における情報提供等への取り組みに関するガイドライン」に則って情報提供を実施することで、学校の指導方針や課題への対応方策等に関し、教職員・生徒間、学校・家庭間の共通理解が深まり、教育活動の活性化や学校運営の円滑化につなげる。また、入学希望者やその保護者に対し、進路選択にあたっての有用な情報を提供すると共に、一人一人の能力・適性にあった望ましい進路の実現に資すること。そして、キャリア教育・職業教育をはじめとした教育活動の状況等について、業界関係者に情報提供することで、相互の対話が促され、実習、就職指導等企業等との連携による活動の充実や、業界等のニーズを踏まえた教育内容・方法の改善につなげることを基本方針とする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標および計画
(2) 各学科等の教育	学科概要、カリキュラム、シラバス、客観的な指標の算出方法、卒業要件、目指すべき人材像、取得可能資格、就職実績
(3) 教職員	教員数、組織、専門性
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み、実習実技への取り組み
(5) 様々な教育活動・教育環境	学校行事
(6) 学生の生活支援	生活上の諸問題への対応
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金、就学支援
(8) 学校の財務	学校の財務
(9) 学校評価	自己評価・学校関係者評価結果
(10) 国際連携の状況	-
(11) その他	-

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ)

URL: <https://www.sanko.ac.jp/okinawa-beauty/disclosure/kankeisya.pdf>
公表時期: 令和4年7月26日

授業科目等の概要

(衛生専門専門課程ヘアメイク科) 令和4年度															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
								講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
必修	選択必修	自由選択													
1	○		保健Ⅰ	適切な美容を行うために人体の保健と皮膚科学を解剖学的ならびに生理学的に理解し、「美容実習」および「美容の物理化学」と関連させながら知識の習得する。	1年・通年	30	1	○			○			○	
2	○		保健Ⅱ	適切な美容を行うために人体の保健と皮膚科学を解剖学的ならびに生理学的に理解し、「美容実習」および「美容の物理化学」と関連させながら知識の習得する。	2年・通年	60	2	○			○			○	
3	○		文化論Ⅰ	美容業界人として必要な美容業・美容業の歴史を学び、創造を広げるエッセンスとなる日本・西洋のファッション文化史の流れを習得する。	1年・通年	30	1	○			○			○	
4	○		文化論Ⅱ	美容業界人として必要な美容業・美容業の歴史を学び、創造を広げるエッセンスとなる日本・西洋のファッション文化史の流れを習得する。	2年・通年	30	1	○			○			○	
5	○		運営管理	自身で生活の中から知識や理論を深めることができる。働く者の立場と、経営者の立場の理解し、キャリアプランに組み込んでいくことができる。	2年・通年	30	1	○			○			○	
6	○		美容技術理論Ⅰ	美容業界で活躍していくために、美容全般の技術と理論について習得する。	1年・通年	30	3		○		○			○	
7	○		美容技術理論Ⅱ	美容業界で活躍していくために、美容全般の技術と理論について習得する。	2年・通年	30	2		○		○		○		
8	○		関係法規・制度	美容の業に対する美容師法による規制と、行政による指導監督制度、およびその他の美容の業の関連法規に関する知識の習得を図る。	2年・通年	60	1	○			○			○	
9	○		衛生管理Ⅰ	公衆衛生について学び、感染症と環境衛生、消毒の義務や目的など、サロンにおける衛生管理を学ぶ中で、衛生面についての理解する。	1年・通年	30	1	○			○			○	
10	○		衛生管理Ⅱ	公衆衛生について学び、感染症と環境衛生、消毒の義務や目的など、サロンにおける衛生管理を学ぶ中で、衛生面についての理解する。	2年・通年	60	2	○			○			○	
11	○		香粧品化学	美容器具や香粧品等に関する科学的知識を通し、美容を適切に行う能力と態度を育てる。「美容保健」、及び「美容実習」と関連させながら、実際的な知識の習得する。	2年・通年	60	2	○			○		○		

12	○		美容実習Ⅰ - A	美容師国家試験第2課題ワインディング技術について基礎を理解し習得する。	1年・前期	90	3			○	○	○							
13	○		美容実習Ⅰ - B	【シャンプー】シャンプーの目的と頭皮毛髪の基本的知識を習得し、施術内容によるシャンプーの違いを知る。 【ヘアアレンジ】頭部の名称からヘアアレンジの基礎技術・現場での基礎技術を出来る様にする。	1年・前期	90	3			○	○	○							
14	○		美容実習Ⅰ - C	【国家試験カット】美容師国家試験第1課題レイヤーカットの構成 基礎知識を習得する。 【トレンドメイク】ショーや撮影などで施すメイク技術を身につけ、現場において実践できるようにする。	1年・前期	90	3			○	○	○							
15	○		美容実習Ⅰ - D	美容師国家試験第1課題カットの構成を理解し、国家試験規定時間内での合格基準の技術を習得する美容師国家試験第2課題オールウェーブ技術について基礎を理解し習得する。	1年・後期	90	3			○	○	○							
16	○		美容実習Ⅰ - E	【ワインディング】美容師国家試験第2課題ワインディング技術を試験時間内に巻くことができ、国家試験レベルの技術を習得する。【トレンドメイク】ショーや撮影などで施すメイク技術を身につけ、現場において実践できるようにする。	1年・後期	90	3			○	○	○							
17	○		美容実習Ⅰ - F	美容室として現場で求められる資質や運営方法を具体的に理解する。	1年・後期	60	2			○	○	○						○	
18	○		美容実習Ⅱ - A	美容師国家試験合格に向けた授業 試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する。	2年・前期	60	2			○	○	○							
19	○		美容実習Ⅱ - B	美容師国家試験合格に向けた授業 試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する。	2年・前期	60	2			○	○	○							
20	○		美容実習Ⅱ - C	美容師国家試験合格に向けた授業 時間内に合格基準を満たす技術を習得する。	2年・後期	90	3			○	○	○							
21	○		美容実習Ⅱ - D	美容師国家試験第1課題カットの構成を理解し、国家試験規定時間内での合格基準の技術を習得する。美容師国家試験第2課題オールウェーブ技術について基礎を理解し習得する。	2年・後期	90	3			○	○	○							
22	○		美容実習Ⅱ - E	美容師国家試験 実技試験合格に向けた授業 試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する。	2年・後期	90	3			○	○	○							
23		○	ビジネスマナー	敬語の使い方や履歴書の書き方、ビジネス文書の書き方など社会人としての考え方、ルールやマナーを身につける。	1年・通年	30	1	○			○							○	
24		○	カラー & ファッション	ファッションの知識と共にヘアメイクとしてのトータルコーディネートとメイクとしての似合わせ等のカラー知識を学ぶ。	1年・通年	30	1	○			○								○
25		○	未来デザインプログラム	三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」を体現する為の授業として、7つの習慣を体系的に学ぶことで、社会人/職業人としてあるべき人格を高め、主体性を発揮して物事にチャレンジできる人材に成長する。	1年・通年	30	1	○			○		○						

26		○	ベーシック・パーソナルメイク	スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し現場を意識して実践できるようになる。	1年・通年	90	3		○	○	○								
27		○	テクニカルヘアメイク	頭部の名称からヘアアレンジの基礎知識・現場での基礎技術を出来る様にする。	1年・後期	60	2		○	○	○								
28		○	スチール撮影実習Ⅰ	【スチール撮影実習Ⅰ】写真のレイアウトやモデルのポージング等を理解し、実践力を身につける。【SNS・WEB・フォトスキル】美容業界の現状やニーズを把握し、SNS・WEB・フォトスキルを活用したマーケティング・集客を理解し実践できるようになる。	1年・後期	30	1			○	○								○
29		○	スチール撮影実習Ⅱ	作りたいヘアメイクのデザインには、どのようなライトやバック紙を選択すれば良いかを知る。	2年・前期	30	1			○	○								○
30		○	就職対策Ⅰ	就職対策を通して、業界の動向を知るとともに、社会人としての一般常識などを身につける。	1年・通年	30	1	○			○								○
31		○	就職対策Ⅱ	卒業時にはすべての人に感謝の気持ちを持ち愛される存在になっている。また、人間力が構築されて、社会人として自信をもって送り出せる人材。	2年・通年	30	1	○			○								○
32		○	ヘアメイク実践Ⅰ	【特殊メイク】特化したシーンで活用できる技術を学び実践できるようにする。【着付け】着付に関する知識・技術を身につける。【まつ毛エクステンション】まつ毛エクステンションの理論などを学び実践に慣れさせる。【サロンテクニック】プラントカットの基本を身につける。	2年・前期	150	5		○		○								○
33		○	ヘアメイク実践Ⅱ	【着付け】着付に関する知識・技術を身につける。【ビジネス英会話】専門用語を教え、更に一般的な英語を話せるようにすること。【撮影メイク】ブライダルシーンに合ったメイク技術を学び、現場を意識して実践する。	2年・後期	90	3		○		○								○
合計						33	科目	67 単位 (単位時間)											

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：本校に修業年限以上在学し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に、卒業の認定を行う。		1学年の学期区分	2期
履修方法：原則として教育課程に定められている順序で履修する		1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。